

乳酸菌のあらたな可能性~ヨーグルトの免疫効果への期待~

2016年3月29日(火) 12:00-12:50

F会場(札幌コンベンションセンター・204号室)

座長 **上野川 修一先生**
(東京大学名誉教授)



講演者 **竹田 和由 先生**
(順天堂大学大学院医学研究科
研究基盤センター細胞機能研究室 准教授)



1991年東北大学大学院歯学研究科博士課程修了。1991年南カルフォルニア大学医学部微生物学教室、1995年新潟大学医学部医動物学講座助手。1996年順天堂大学医学部免疫学講座助手、1999年同講師、2007年同准教授。また、2005年豪州Peter MacCallum Cancer Centre, Cancer Immunology Program 客員准教授併任。2014年より現職。2000年には日本癌学会奨励賞を受賞。専門は、腫瘍免疫、NK・NKT細胞の機能解析。

免疫は病気から体を守り健康を保つための生体防御機構です。

近年の健康ブームからTVや雑誌等でも「免疫」という言葉を頻繁に見かけるようになりました。

このように多くの方に関心を持たれるようになった免疫ですが、誤解されている所も多々あるようです。たとえば、免疫を上げると健康になるとされている方も多い様ですが、それは間違いです。免疫を上げると病気になりにくく(ならなく)なり健康を害しにくくなるだけで、免疫を上げて健康が増進されるわけではありません。

そこで「免疫」と免疫の最前線で働くNK細胞について分かりやすく解説した後に、TVや雑誌等に取り上げられている生活の中で免疫を上げることについて、お話したいと思います。特に、乳酸菌を使用したヨーグルトは、腸内細菌叢に影響を及ぼすだけでなく、直接的に免疫を調整する作用があることで広く注目されています。

最近の研究で、乳酸菌にはNK活性を上げるだけでなく、ワクチンの効果を高めるアジュバンド効果もあり、免疫機能全体を上げる可能性が示されました。食品等が直接的に、また腸内細菌叢の変化により間接的に免疫に影響を与えることは最近次々と明らかにされており、一般からも広く注目されています。今後の研究の進展が非常に期待されている食品免疫において、その一端である私たちの研究についても御紹介したいと思います。